



FERRIS
UNIVERSITY

2021 No.19

フェリス女学院大学同窓会会報



旧カイパー記念講堂のステンドグラス

《聖句》

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。
休ませてあげよう。

マタイによる福音書 第11章23節

2021年度 以下の行事が中止となりました。

6月12日 大学合同総会

12月11日 中高大学同窓会クリスマス礼拝

聖書通読の勧め

理事長 亀徳 忠正



で読了し、今年の1月からは旧約聖書を読み進め、目下歴代誌上を読み始めた処です。

今から6年前、古稀を迎えて、これから残りの人生、何かライフワーク的なことに取り組みたいと考えて、和文、英文の聖書を通読することにしました。出来たら死ぬまでに、複数回通読出来たらと思います。何故この決断に至ったかというと、亡き父の影響が大変大きかったのです。私に遺してくれた英文聖書(HOLY BIBLE)には読了期間が記されているのですが、新約聖書については、58歳から34年間で10回読了、旧約聖書については、59歳から27年間で8回読了とあります。尊敬する父の偉大な足跡に目も眩む思いですが、私も少しでも父に近づきたいと思って、通読を開始した次第です。(因みに英文聖書では旧約聖書1401頁、新約聖書433頁です。)この6年間の私の実績ですが、和文聖書は新約旧約共に日本基督教団出版局の略解と共に読み進めましたが、新約聖書に2年、旧約聖書に1年8ヶ月を要しました。2020年1月からは和文聖書と同時に英文聖書に取り掛かり、新約聖書は1年

前置きが長くなりました。これまで部分的にしかも関心のある箇所だけ読んでいた聖書でしたが、通読を通して初めて判ってくる聖書の真理を理解することが出来るようになりました。旧約は義の宗教であり、新約は愛の教えであるといわれますが、旧約新約を通し一貫して、唯一無二の全知全能の神様が、常に「人間の罪」に対峙し、人間を救済する為に働いておられるという真実が判ってきたのです。神様は旧約においては、モーセや預言者に対して直接話法で語りかけられ、新約においては主イエスを通して、又使徒やパウロに対する啓示を通して御心を示されました。モーセやパウロは神様のお働きの為に用いられたのです。

主によって建てられたフェリス女学院の歩みが、主の御導きに守られ道が整えられて今日あるのは、神様のお働きによるものです。多くの方々の多大な献身があったことは論を待ちませんが、しかしながらその献身は神様に用いられた結果であることは忘れてはいけないと思います。フェリス女学院を益々発展させていく為に、私は神様に用いられたいと心から願っています。

コロナ禍の中でも希望を与えられた オリンピック・パラリンピック

学院長 鈴木 佳秀



2020年に創立150周年を迎えたフェリス女学院では、新型コロナウイルスの蔓延を受けて、10月10日の記念式典を中止せざるを得ませんでした。しかし、新たに歴史資料館の開設や、大学でのCLA棟の設置、ラーニングコモンズのための図書館の改装などが実現され、中高では、中庭と外構の整備が順調に進められています。創立150周年記念のための事業が着実に進められていることは、感謝です。

退院後も、厳しい修練を重ね、見事、代表選手に選ばれたというニュースに、心底、驚きを感じたからである。こんな女性がいたのかというのが、率直な感想であった。彼女にとってオリンピックは生きるための場所でもあったという。画面で見ることができた彼女の笑顔を、涙なしに見ることはできなかったが、心からおめでとうと声を上げた次第である。表彰台に登ることはなかったが、彼女は次のパリを目指しますと断言していたが、その目が輝いているのに気付かされた人も多いのではないか。

彼女のような選手が、オリンピックに出場し、レースに参加し、未来に向けての希望を語ってくれたことに深い感銘を受けたが、同じ印象は、パラリンピックの選手たちからも感じることができた。自分が負っているハンディをものともせず、ひたすらレースに出ることを目指して鍛錬してきたことは、どの選手からも感じることができた。パラリンピックの舞台に立てたという感激は、彼らの笑顔から伝わってきたからである。帰国時に、彼らを支えたボランティアの人たちに「ありがとう」と声をかけて手を振っていた光景が忘れられない。批判の多かった大会であっても、彼らの笑顔に救われたのが現実である。ボランティアの人々を支えたのはフェリスのBoys Othersの精神に近いものがあり、その中に卒業生もいたのではないかと、密かに思った次第である。

このコロナ禍の中で、一年遅らせてまでオリンピックを開催すべきかをめぐって、賛否両論に分かれて論争されていたことは記憶に新しい。結果的に、無観客でも開催を決定したことは英断に等しいという印象を持った。特に、急性リンパ性白血病で倒れた水泳の池江璃花子選手が、病を克服してオリンピックの舞台に出場できたことに、表現し難いほどの深い感動を与えられたからである。世界的にドナーを広める運動が行われている現状で、母親の提供したものが適合するという幸運にも恵まれたが、闘病生活でもオリンピックに出るという希望を捨てることなく、快癒して

感謝とご報告

学長 荒井 真



フェリス女学院は、昨年、創立150周年を迎えました。しかし、創立151年目の2021年度もいまだコロナ禍のために厳しい状況に置かれています。

そうした中にもありましても本学においては、昨年度から試行錯誤を続けてきた、対面とWeb会議システムを組み合わせたハイブリッド授業（ハイブレックス授業）が定着し、今年度前期には約8割の授業を対面またはハイブリッドで行うことができました。それにより、対面授業を望む学生も基礎疾患や感染不安により遠隔での履修を希望する学生も同時に学修することができるようになりました。もちろん、いまだ多くの改善すべき課題が残っておりますが、これからも、学生・教職員の感染症対策に万全を期しつつ、学生の学びの機会とその質をしっかりと保証すべく取り組んでまいります。

また、昨年度の経験から多くを学びましたので、諸行事の多くは対面で行っております。2020年度学位授与式は、密な状況を避けるために2日に分けて行いました。同様に2021年度入学式は午前と午後に分けて対面で実施いたしました。また2020年度に実施できなかった入学式を、

1年遅れで今年の4月17日に開催することもできました。学生からも対面で実施できてよかったとの声をいただいております。保証人の方々には残念ながら、ご参加いただくことはできませんでしたが、式典の様子を撮影し、その日のうちにオンライン配信でご覧いただけるようにさせていただきました。ご理解を賜りましたことについて、あらためてお礼申し上げます。

図書館などの大学諸施設についても、感染症対策を行いつつ、原則として平常時と同様に利用できるようになっております。皆様のご支援により創立150周年の記念事業として整備させていたいただいた緑園キャンパス図書館内の「ラーニング commons」や同じく緑園キャンパス7号館の「言語センター」では、レクチャーコンサートなど、徐々にイベントも開催されるようになっていきます。キャンパスに学生がいて、そこに交わりがあることが、いかに大切なことかを実感しております。

後期の授業も前期と同じ形で行いたいと思っておりますが、コロナウイルスの変異株が次々出現するなど、感染症の収束には程遠い状況です。慶應義塾のご厚意により、学生および教職員の希望者はすべて、ワクチンの集団接種を受けることができましたが、これからも気を緩めることなく、学生および教職員全員の健康と学修・研究を守るべく努力してまいります。

まだまだ厳しい時期が続きますが、今後ともご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。以上、感謝をもってご報告いたします。

維持協力会より ご支援への感謝とご案内

150周年記念募金（募集期間…2016（2020年度）に各同窓会、卒業生の皆様からお寄せいただいたご厚志は、教育・研究のための施設設備拡充、改修等に活用し、2020年4月には図書館・ラーニング commons を開設、2021年4月には言語センター（7号館3階）をリニューアルオープンしました。長期化するコロナ禍にあり、学生が学外で安心して過ごせる場所は限られていますが、皆様のご支援によりキャンパス内に快適な学修空間を提供できました。心より感謝申し上げます。

入りやすさ、居心地の良さを重視した設計、学生の意見や志向を反映したレイアウト、学修意欲を喚起する仕掛けが随所に盛り込まれ、学生に親しまれる場所となりました。図書館・ラーニング commons、言語センターは教室以外にもオンライン授業受講可能な場所として開放されており、機材使用や資料検索のサポートを受けやすいことから、利用者の滞在時間が伸びています。



ラーニング commons



言語センター

●ご寄付の方法

1口1万円をお願いしておりますが、金額にかかわらずありがとうございます。次のお受け取りいただけます。

- ・専用振込用紙
- ・クレジットカード、コンビニ、ペイジー
- ・ネットバンキング、ATM（ゆうちょ銀行）

詳細は **学院公式サイト** でご支援のお願い **V** 寄付の種類 をご参照ください。

●使途のご指定

ご寄付の際、目的別に「施設設備整備」、「教育支援」をご指定いただけます。「教育支援」はコロナ禍における学生の活動支援、学修サポート制度、大学独自の奨学金等に用いられます。

●税制上の優遇措置

- ・所得税の税額控除または所得控除…対象です。
- ・個人住民税の寄付金税額控除（神奈川県、横浜市にお住まいの方）…対象です。

●お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局 総務課
電話…045(662)4511
hsounu@ferris.ac.jp



りべるて

Vol.33
家政科同窓会

書面表決

承認されましたので予算といたします。
今後、現状を学院・大学とご相談させていただきながら活動して参りますので、会員皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

りべるての皆様

会長 金子 和恵



中止しております。幸いにも家政科記念館は独立した建物ですので、来年には皆様のご理解を得て各種講習会等再開出来ます様、万全の対策を講じて参ります。

今回は皆様に、在学中の思い出を綴っていただきました。多くの皆様が、家政科の2年間は授業が多くとても忙しく過ごしました。でも今になると夢のような楽しい時間でありました。また、この思い出がその後の人生で困難な時も背中を押して乗り越えられたと書いていらつ

しゃいます。生涯の友人に出合えた方も大勢いらつしゃいます。フェリスに入学させてくださった両親に感謝との記述も多くありました。以前全国の大学の学生に学びや生活についての満足度を調査した結果、フェリスの学生は好評価であったと伺っています。家政科の専門部から短大、そして大学へ70年を経て良い思い出を持ち、過ごせる事はとても幸せです。

りべるて会員の皆様、いつもりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年も会報をお届けできますことは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの流行は未だに収束の見通しが立っておりません。今迄の生活に戻る事は難かしいのではないかと思っております。また、全国いたる所で自然災害によるじん大な被害の報に心が痛みます。会員の皆様の日々の安寧を願っております。

今年の総会は昨年に続きまして中止致しました。皆様には書面表決にてご承認をいただきました。年内は行事と活動は

最後にになりましたが、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を願うとともに、皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

6月13日に予定しておりました総会は、新型コロナウイルス禍により皆様の安全と健康を最優先と考え中止いたしました。会則第9章28条(1)を適用し、発送数4256通返送数1050通(9月2日現在)で20%以上の主席者を以つて成立いたしました。結果につきましては別表をご覧ください。

第1号議案は2020年度事業報告です。家政科記念館の開館は全て中止、大学同窓会会報の幹事として活動致しました。

第2号議案は運営費報告です。現在りべるての活動費は学院に予算請求をし、運営しております。

第3号議案はりべるての財産の決算報告です。奨学金を支出しました。

第4号議案は、2021年度事業計画案です。承認されましたが、新型コロナウイルスの終息が見えない状況で会報のみ行ないます。

第5号議案は2021年度予算案です。

奨学金

りべるて奨学金は2011年に、経済的理由で勉学に支障を来たさなように、りべるてより原資を提供し創設した奨学金です。
現在まで21名が利用され14名が返還していただきました。今後も学生の皆様のお役に立てることを願っております。

議案	承認	否認	表記なし	計
第1号議案	1026	0	24	1050
第2号議案	1024	0	26	1050
第3号議案	1025	1	24	1050
第4号議案	1026	0	24	1050
第5号議案	1024	2	24	1050

家政科の思い出

同窓生より在学中の思い出をお寄せいただきました。
懐かしい先生方のお名前や学生生活を思い出しながら
お読みください。



頂いたのは初めての経験でした。

(D 33 K・N)

◆足立先生、先輩の方々と北海道旅行に行き楽しかったことが思い浮かびました。足立先生の衛生学、もつと熱心に勉強すればよかったと悔やまれます。

(D 33 T・E)

◆夏休みの軽井沢の山荘、今も夏になると思い出します。今はどんなになっているのか、行ってみたいです。

(D 34 N・Y)

◆市電、長い坂、山永院長先生の礼拝、帰りに食べたジャーマンベーカリーのパイアラモード。今も御殿場の修養会で仲良くなった友と電話で話しています。

(D 35 Y・H)

◆授業を受ける態度、姿勢として、体育の授業以外スラックス姿は禁止でした。卒業式は授業で自ら製作した帽子とガウンを着用し、終了後は後輩用に学校に置いてきました。

(D 35 O・Y)

◆授業中、ボーという汽笛を聞き、あゝ私は憧れのフェリスにいる・・・今でも思い出してはその時の胸のときめきを感じています。

(D 39 S・M)



土屋 虎男 先生

◆卒業半年前、キリスト教概論の土屋虎男先生が、講義中突然「戦友」を歌われた。軍歌らしくない歌にじつと聴き入った私は、その後毎回最後の講義迄「戦友」を歌って戴いた。愛と自由と平和と感謝の教えは今も生きています。

(D 39 I・K)

◆調理の時間は、食器を揃える、作る、片付けると素晴らしいチームワークでいつも一番でした。卒業式のガウン制作は布が固くて針で指がボロボロになりました。

(D 41 I・S)

◆御殿場の二の岡山荘に夏休み、少数の希望者だけ、先生方引率のもと滞在しました。自炊であった時間は近隣を散策し、ディスカッションをしたり、交遊を深めました。

(D 41 A・M)

◆学校が楽しかったことしか思い出せません。友達も亡くなり少なくなりしました。今までいろいろありましたが、楽しかった思い出のみ残っています。

(D 25 T・K)

◆戦後間もない二年間、短大一回生として全て有意義に過ごさせて頂きました。ミセス・サトウのお授業は当時としては色々新しいことを学ばせて頂きました。二の岡の修養会でのキャンプファイヤー、遠足の逗子海岸でのバーベキュー、全て楽しい思い出です。

(D 27 M・T)

◆礼拝から始まって在学中に受けたすべての授業、特にミセス・サトウのご自宅の見学。読みたい本が沢山あった図書室。横浜港に入港したマルセーユ号

(D 29 O・R)

◆今、クリスチャンとして守られているのはフェリスの「毎朝の礼拝」のお蔭です。ハモンドオルガンの誘導で賛美歌、お祈り、英語の説教はわかりませんで



足立 智恵子 先生

◆休講になると二、三人でこっそり外人墓地に行き「ステキ」な景色を眺めながらおしゃべりしたものです。本当に楽しい思い出です。

(D 31 A・M)

◆毎日寮から学校まで、富士山を見ながら通学しました。足立先生と共に北海道旅行をしたこと。竹内先生、サンダー先生と寮の庭でクリスマス会をし、ソーセージを金串にさして焼きながら



奥山 正夫 先生

◆青年会の活動の中、カイパー記念講堂にてクリスマスページェントを開いたり、修養会での土屋先生、奥山先生、高井先生との話し合いや合唱など懐かしい思い出です。

(D41 M・Y)

◆礼拝をさぼって元町をふらついたり、食事をしたりして……。足立先生に見つかり反省文を書かされましたが、今では毎週教会のミサに参加することが一番大切な時間です。

(D42 N・H)

◆お料理の時間に当時初耳だったブイヤーベースを作りました。豊富な魚介類の材料ゆえ、美味しく高級感あふれる授業でした。ボルシチやピロシキも半世紀前の事ゆえ、とても印象に残っています。若い頃よく作りました。

(D42 S・K)

◆1学年は友井先生、2学年になり料理の時間に中国人のご夫婦の先生に教えて頂きました。食材を中華街で求めて家族に喜んでもらった事を懐かしく思い出します。今も作っています。

(D43 I・M)



三浦 てつ子 先生

◆地下教室の三浦先生の被服の授業では、何種類もの襟、カフス、ポケットの部分縫いを習い、最後には自分好みのスーツを仕上げました。刺繍は色々なステッチを習い、ドロンワークでは白い布にレースのような美しい模様を根気よく刺していきました。

(D44 S・H)

◆43年当時御指導を受けた足立智恵子学長は福福しい外見とは裏腹に、授業は実に威厳のあるものでした。名調子の「であるからして」のお言葉が出ると思わず背筋がシャキッ!!としたものでした。

(D45 S・Y)



高井 潔 先生

◆すばらしいお声の持ち主で、朗らかな英語の高井先生。また、栄養学の実験室で、穏やかな二宮先生を囲みコーヒーをいただいたこと。毎年クリスマスが近づくと山手を歩くのですが、あの頃が懐かしく思い出されます。

(D45 Y・S)

◆在学中に学院の100周年を迎えました。当時、家政科の先生でいらした足立智恵子先生がこれからはコンピュータの勉強が必要と仰り、今とはくらべものにならない巨大なコンピュータと向き合ったことを思い出します。50年の時代を感じます。

(D47 K・M)

◆日本料理の永島トヨ先生。上は白衣、長いひもを腰にぐるっと回して前でしっかりと結ぶ白い前掛け。これから手術という白い三角巾で頭をキリリ！焼いたさんまに添える大根おろし、さ

んまの背側でなく腹側に。先生、守っていますよ！

(D50 H・S)



永島 トヨ 先生

◆ちようど「バマトラ」が流行していた頃、ミハマの靴やブレザー、スクールリンダ、フクゾーのシャツやベスト、カヨのコートetc。元町はだいぶ変わってしまいましたが、やはり懐かしい街です。あの頃に戻りたい！

(D51 Y・M)

◆入学式のカイパー講堂は別世界で伝統を感じ緊張しました。6号館の校舎は明るくエレベーターもあり、特にホテルのようなトイレできれいにお化粧をしている上級生に憧れました。法律、消費経済、社会福祉、住宅設計、コンピュータと時代を先取りした勉強はとても役に立ちました。

(D51 K・K)

◆1年の秋、山手教会でユミンの結婚

式。ソワソワしながら階段教室で授業を受けていると、なんと先生が早めに授業を切り上げて下さり急いで教会へ。ユーミンの花嫁姿を見る事ができた、素敵な思い出です。

(D53 I・K)

◆授業が終わり石川町駅への道、代官坂の坂の上から見えるマリントワーや港の青い海が大好きでした。今は高層ビル等が建ち景色は変わりましたが、映画「コクリコ坂から」の港の景色が懐かしい時を思い出させてくれました。

(D55 A・N)

◆思い出は多すぎて語りつくせませんが、一つあげるとすれば、1年生の2月に参加したオーストリアへの研修旅行です。川又教授の引率で約2週間、オーストリア、ドイツ、ベルギー、フランスを訪れ、かけがえのない思い出です。

(D57 N・S)

◆横浜名所の外人墓地、山下公園を歩きながらの登下校は楽しい思い出いっぱいです。友井ゆり子先生に習った料理を今でも作って出して、家族や友人に喜ばれています。

(D63 W・A)

◆カイパー講堂でのクリスマス礼拝：。荘厳で美しく、崇高な雰囲気の中で、讃美歌と祈りを捧げ心が清らかに洗われてゆくのを感じた時、得も言われぬ感銘を覚えました。今でも、心に残って居ります。

(D63 N・M)

◆私の在学中の一番の思い出は、卒業礼拝で表彰されたことです。当時の学科長と体育科の先生で選んでいただいた副賞の真珠のネックレスは、一生の宝物で今でも大切に使っています。ありがとうございました。

(D63 T・J)



友井 ゆり子先生



6号館

■2020年度決算報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

科目	金額 (円)
収入	
受取利息(グッズ販売、バザー)	1,066
業金の他計	0
寄付金の小計	0
前年度繰越金	1,066
合 計	3,709,890
支出	
寄付金奨学金	500,000
交際費(グッズ)	0
支小計	0
次年度繰越金	500,000
合 計	3,210,956
繰越金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,500,000
普通貯金(同上)	328,536
普通貯金(横浜銀行)	382,420
合 計	3,210,956

■2020年度運営報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

科目	金額 (円)
奨基金運営費(学院より)	2,227,935
合 計	2,227,935
支出	
品消費費	8,086
交通費	45,280
通信費	969,314
印刷製本費	1,089,332
通搬本数合	2,170
報手合費	25,260
議手合費	70,000
諸外費	18,493
渉雑費	0
修繕費	0
寄業費	0
付金	0
合 計	2,227,935
収入-支出	0

■2021年度予算

科目	金額 (円)
消耗品費(事務用)	10,000
(その他)	5,000
旅費交通費	150,000
通信・運搬費(郵便料金)	760,000
(宅急便)	750,000
印刷製本費	10,000
委託費	630,000
報酬手数料	600,000
会議合費	2,000
諸会費	80,000
渉外費	70,000
雑費	50,000
修繕費	60,000
事業費	0
寄付金	0
合 計	2,412,000

会長

金子 和恵

会計

石井 克子

池田 昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。

2021年5月13日

監査

郷 佐夫

浅見 治美

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、リベるて宛お知らせください。

TEL・FAX 045-662-0750(第一・第三木曜日は閉館)

Fグループの皆さま

会長 小林 周子(29回)



会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。去年の今頃は来年こそという淡い希望を抱きつつ生活しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延が収まる気配のないうえに全国各地での異常気象による災害を耳にし、皆様のご息災をお祈りするばかり

です。昨年に引き続き今年度も学年幹事会は書面による開催、総会は中止となりました。創立150周年を記念し学院より用意していただきました同窓会室は少しずつ準備が進み皆様にお披露目、活動の場として使っていた日を送っていました。そのような中、3月には神奈川県民ホール小ホールにおきまして会員、会員の生徒さんによる山手の丘合同発表会の開催ができましたことは、ご指導の方々と共に役員にとりましても大きな喜びでした。これからもFグループは身近な活動の場と

して卒業生の皆様にご利用していただけますよう、合同発表会を始めとしてリユニオンレッスンや講座などを企画してまいりたいと思います。来年度は会長改選の年になり私は任期満了で退任させていただきます。おおよそ、又力不足の私を温かく支えてくださいました役員の方々を含むすべての同窓生の皆様に心より感謝いたします。短大時代は私にとりまして、純粹にただただ音楽に向かうことのできましたかけがえのない日々であったことが今さらながら思い起こされます。厳しい毎日の中、時代に即して変化しながら発展を続けていく母校に感謝しつつ、変

～Fグループ ご寄付のお願い～

近年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。一口 2,000円からお受けたいしております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〈振込先〉ゆうちょ銀行

00280-3-75184

〈加入者名〉Fグループ

通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

音楽学部のPA(パフォーミングアーツ)実技科目群

音楽学部長 立神 粧子



コロナ禍におけるオンライン授業で大学に夢が持てなくなった学生も増えている中、音楽学部ではいち早く、授業や実技科目におけるコロナ対策の諸ルールに基づき、安心安全な対面授業やハイブリッド授業を実施しています。

2022年度から音楽学部は新音楽芸術学科一学科のみとなります。「音楽を専門的に学ぶ」ということを時代に合わせてその意味を問い、その答えがリベラルアーツ型の大学であるフェリスでは演奏学科を音楽芸術学科の中に組み入れるという学部改組となりました。「多様性」という言葉がキーワードのいま、音楽も多様性を追求することは高校生のニーズからも、また社会のニーズからも自然なことであるように思います。演奏学科より授業料が低額となる新音楽芸術学科では実技レッスンが有

料になりましたが、すでに多くの学生が個人／グループ実技レッスン履修しています。PA(パフォーミングアーツ)実技科目群の枠組みには、音楽・器楽・作曲等の個人実技レッスンのほか、グループレッスンとしてバレエ／ダンス、音楽・弦楽アンサンブル／管弦楽、室内楽、オペラ／ミュージカル、教職実技などがあります。加えてデジタル系のMTL(ミュージック・テクノロジー・ラボ)として、Digital Fabrication Lab, Media Art, Moving Images, Movies, Internet of Things, AI Technology and Music, Digital Technology Marketingの六種類のグループ実技があり、最新の音

楽テクノロジーを学ぶことができます。音楽文化系から演奏表現系まで音楽の多様なシーンをカバーする10種類のゼミや学科専門科目では、地道に研究・発信・表現する力、想像力、創造的マインド、知識やテクノロジーを音楽に応用する力、社会と音楽を結びつけるプロデュース力などの獲得が目標です。PA実技科目群では技術の獲得と自己表現力のほか「芸術的な創造的マインド」の力を伸ばしてほしいと思います。多様性の中で「好きな音楽」の勉強を通して、将来のいかなる場面においても応用できる様々なニーズに応える力を身につけることこそ、音楽学部の本意なのです。

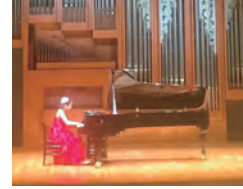
わらず応援してまいりたいと思います。最後にになりましたが皆様の健勝をお祈りするとともに、変わらぬご支援をお願いいたします。

山手の丘合同発表会

21年3月30日(火) 神奈川県民ホール

2020年度、さまざまなイベントを中止とすると、音楽の学びを止めることなく発表の機会を持ちたいと願い、第8回山手の丘合同発表会の企画を進めました。

参加者はじめ発表会に関わった全ての皆様の厚いご協力により、無事に発表会を開催できたことに感謝しております。



マスクをして緊張気味な顔つきでホールへ集まったお子様たちも、ステージにあがれば、いつもと変わらない発表会のよう。約60組の参加者が奏でた音色に、生の響きの良さを改めて感じた方も多くいらしたと存じます。

第9回も、神奈川県民ホールにて2022年3月に開催を目指しております。

担当 金子明子(43回)

学年幹事会

例年5月頃に開催している学年幹事会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年も開催を見送り、昨年同様書面にてご報告を郵送いたしました。期日までに反対意見等寄せられなかったため承認されたこととし、ここにご報告いたします。また次期会長選挙に向けて、選挙管理委員会が発足されました。

担当 富貴重里紗(56回)

「選挙管理委員会のお知らせ」

2021年度に任期満了となるFグループ会長の選挙を会則に基づき執行いたします。任期は2022年度から3年間です。

自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会までご連絡ください。

*立候補期限 2022年3月1日

*連絡先 Fグループ事務局

委員長 太田康子(22回)

中部支部

支部だより

支部長 二村 里江(43回)

昨年度、中部の顔として長い間ご尽力くださいました牛込まりさんより支部長を引き継がせていただきました43回卒の二村里江です。どうぞよろしく願います。

昨年から新型コロナウイルスにより、残念ながらジョイントコンサートは中止しております。来年こそは若い出演者さん達と華やかに開催できますことを祈っております。そして、同窓生の皆様にお会いできますことを楽しみにしています。

九州・山口支部

支部長 小串 成美(25回)

2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大のため残念ながら同窓会の活動をする事が出来ませんでした。来年、新型コロナウイルス感染症の落ち着きが見られれば7月にジョイントコンサートを開催したいと思っております。

コンサートを通して音楽の喜びを皆様にお伝え出来る日が来ることを願っております。

*北支部、関西支部の活動報告、活動予定等のお知らせは、コロナウイルス感染拡大の影響でございません。

新同窓会室紹介

山手6号館は、フェリス女学院150周年記念館として整備され、昨年12月にFグループ同窓会室も6号館内へ移転いたしました。

今までも同窓会室として利用していた602教室ですが、改装後には、旧542教室にあったスタインウェイと、三宅洋一郎先生ゆかりのチェンバロが置かれています。キャパシティ30〜40名程度の広めの教室です。

事務局スペースも併設し、卒業生の書籍やCD、卒業アルバムはじめ、過去の会報やFグループ主催コンサートの記録等も閲覧できるようにしたいと存じます。この機に、お手持ちの卒業アルバムや初演楽譜、お写真や資料など、ご寄贈をお考えの方は同窓会事務局までご連絡ください。

今後は各種講座の開催、同期会や練習会など、広く活用できるよう準備しております。

皆様にご利用いただける環境が整いましたらホームページにて告知いたします。一日も早く新同窓会室で会員の皆様と集えることを役員一同心待ちにしております。

フェリス音楽教室

こどもたちとともに65年

2021 後期生徒募集中

大人向け実技レッスンも開講中

2歳児から高校生まで
毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396
<緑園教室>
045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

芳野靖夫先生

二〇二二年三月二十二日ご逝去



2019年門下演奏会より

令和3年3月、芳野靖夫先生がご逝去されました。緊急事態宣言が出る直前の昨年3月末のレッスン、マスクをしたまま歌おうとした私を笑い飛ばされ、ご自宅の玄関先で「また来月ね」と仰って手をふられたお姿が、芳野先生にお目にかかれた最後の機会になってしまいました。

現役を退かれても変わらぬ豊かな美声と音楽への情熱に満ちたレッスン。そしていつも温かい愛情をもって門下生をお導きくださり、その薫陶を受けることがどれほど幸福なことだったかを、寂しさや悲しみと共に思い返しております。

先生には様々なことを教えていただきましたが、一貫して仰っていたのは「歌う行為とは、心の中にある一番美しいものを音にして紡ぐこと」でした。そして「あるべき姿に向かって努力し続けることが大切なのだ」ということでした。

深い感謝と共に在りし日のお姿を偲びつつ謹んでお悔やみ申し上げます。

荒川 美江(38回・46回)

村井範子先生

二〇二〇年十二月十七日ご逝去



ご家族様より提供

短大時代「勉強つて学校を終えてからもずっと続けていくものですよ」という先生のお言葉が心に残り、私は人生半ばになって他大の通信課程に身を置き音楽学を学ぶこととなりました。

時を同じくしてフェリスオープンカレッジで先生と再会、そこでキリスト教と西洋音楽とのつながりやグローバルな視点での音楽の講義を拝聴いたしました。それまでピアノ一辺倒であった私は目から鱗の思いで改めて音楽の奥の深さを実感し、後にフェリスの大学院での勉学を思い立つに至りました。

先生はご自宅で音楽史研究会を主宰され「音楽に楽しくやりましょう!」をモットーに様々な分野の方との交流の場も提供してくださいました。最後にお目にかかった時「音楽をやっているよかったですか?」と仰せられ、私は先生の音楽への情熱に敬服し感謝に堪えない思いであります。

川村 優子(25回・院10回)

恩師を偲んで

鈴木寛一先生

二〇二〇年四月六日ご逝去



2005年卒業アルバムより

世界屈指のエバンゲリストであり日本オペラ会の重鎮、鈴木寛一先生。思えば寛一先生から受けるレッスンはとても贅沢なものでした。空気を震わせ響く京都弁が馥郁とした歌声の響きに変わり、私の手を先生の横隔膜や耳の下に当てて先生の美声を体全体に受けながら響きやフレーズ感を身につけていきました。また、いつも舞台袖で奥さまが背中を押してステージに出ていらしたというエピソードは、レッスンで落ち込んだ私に、何事においても気持ちを新たに畏敬の念や緊張感を持ち続けることの大切さを伝えてくださいました。柔らかなベルカントは先生の誠実なお人柄そのもの。歌声の秘密がそこにあったと私は確信しています。

どうぞ天においても私たちを見守り、先生の美声を響かせてくださいますように。

松浦 真理(34回)

島田麗子先生

二〇二〇年九月二十二日ご逝去



1989年卒業アルバムより

この原稿依頼の打診により、島田麗子先生のご逝去を知りました。

島田先生は主にオーケストラや合唱団との演奏で活躍されていたが、残念ながら私は一度も演奏を聴く機会に恵まれませんでした。

キリスト教音楽学校からフェリス短大での受講を合わせても5年程ではありますが、オルガン奏法の初歩から教わりましたが、常に丁寧な言葉遣いながら、少し早口で熱心に指導をしてくださいました。

品格があり、華やかでもある先生の音楽感を受け取れていますようにと、主の平安をお祈りいたします。

工藤 羊子(30回)

Fグループ2020年度決算報告 (2020年4月1日～2021年3月31日)

〈収入の部〉 (単位: 円)

項 目	決 算 額
終 身 会 費	110,000
総 会 会 費	0
ジョイント会費	0
研 修 会 会 費	0
ティータイム会費	0
合同発表会会費	963,000
宛 名 シ ー ル	0
ガ ヅ 販 売 金	19,200
寄 付 金	552,500
雑 収 入	108,210
募 金 コ ン サ ー ト	0
小 計	1,752,910
前 年 度 繰 越 金	4,088,594
収入の部 合計	5,841,504

〈支出の部〉 (単位: 円)

項 目	決 算 額
(1) 運 営 費	1,209,352
会 議 費	0
印 刷 費	8,165
通 信 費	137,414
人 件 費	412,457
交 際 費	47,165
事務・消耗品費	19,925
備 品 費	13,500
出 張 費	28,100
交 通 費	40,500
学 年 幹 事 会 費	18,586
特 別 委 員 会 費	0
雑 費	5,040
予 備 費	478,500
(2) 活 動 費	1,925,423
総 会 関 係 費	0
研 修 会 関 係 費	0
ティータイム関係費	0
会 報 関 係 費	704,315
ジョイント関係費	0
リサイクル関係費	0
支 部 関 係 費	170,000
慶 弔 関 係 費	45,125
合同発表会関係費	1,005,983
募 金 コ ン サ ー ト	0
予 備 費	0
(3) 諸 会 費	1,081,200
連絡会維持費	70,000
維持協力会費	300,000
寄 附	711,200
(4) 積 立 金	0
名 簿 積 立 金	0
積 立 金	0
(5) 予 備 費	0
支 出 合 計	4,215,975
次 年 度 繰 越 金	1,625,529
支出の部 合計	5,841,504

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。2021年4月22日
Fグループ会計監査 井上 眞記子
太田 三美

これまでウィーンのモーツァルトハウスをはじめとするオーストリア国内でのコンサートのほか、オーストリア文化フォーラムの後援を得て、イスラエ

ル、ポーランド、スイスなどで演奏されていたいただきました。また、ペーター教会の「モーツァルト・ソナタ・コンサート」シリーズ、ウィーン音楽劇場協会主催、ウィーン日本大使館主催、などの演奏会、また、1996年より「草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティヴァル」に招聘していただいています。



©福田 和代

・常任 B 富貴亜里紗(56回)

新役員紹介

東京に生まれる。ピアノを母の従姉妹・故塚本ルリ子に師事。フェリス女学院短期大学ピアノ科卒業。専攻科、研究科を経て副手。その後、ドイツ・ヘッセン州立フランクフルト音楽大学にて室内楽ピアノ科ディプロム、オーストリア・ウィーン国立音楽大学にてピアノ演奏科・声楽伴奏修士科卒業。オーパーエステライヒ州立音楽学校ピアノ講師の後、1994年よりウィーン国立音楽大学伴奏専門講師。

YouTubeチャンネルのご紹介

このたび長引くコロナ禍に在宅でお楽しみいただける事を願いつつ、YouTube動画の配信準備を進めております。Fグループ会員からの演奏動画を募集しデータをお預かりしてご紹介させていただきます。準備が整いましたらご案内させていただきます。詳細はホームページにて。

* 前述の150周年記念チャリティポス

感謝申し上げます。

求めいただきました皆さまに、心より

感謝申し上げます。

* 150周年記念募金の一環として販売

したチャリティポストカードの総売り

上げ15万5千円を維持協力会へ寄付い

たしました。デザインをご提供いた

きました岡崎光子さん(11回)、お買

求めいただきました皆さまに、心より

感謝申し上げます。

* 同窓会室(山手602)利用者からのご

厚情2万2千5百円は、後日音楽学部

へ寄付予定です。

* 小池園美さん(18回)より2万円、澤村

れいねさん(47回)より1万円、寄付を

賜りました。心より感謝申し上げます。

* 同窓会室(山手602)利用者からのご

厚情2万2千5百円は、後日音楽学部

事務局より

トカード売上金、19年度同窓会室利用者からの寄付金5万6千2百円を含め、71万1千2百円を150周年記念募金として維持協力会へ寄付いたしました。

* 同窓会室の利用について。同窓会室移転とコロナ禍の為、現在のところ卒業生の利用受付は休止しています。以前のように卒業生に活用いただければ、ウェブサイトに等してご案内いたします。

* 演奏会の後援、校章使用、同窓生の住所紹介(宛名シール)等については事務局へお問合せください。HPからも申請できます。

* 住所・姓の変更、慶弔等、同窓生や先生方の情報は事務局へお寄せください。

Fグループ会報編集
福原洋子(46回)

藤原律子(47回)

Fグループ同窓会室

開室日：事務局 毎週木曜 10:00～17:00
※コロナ禍の為、不定期開室となる場合があります。
メール対応は通常通り。

住 所：〒231-8651 横浜市中区山手町68
フェリス女学院6号館内

電 話：045-350-8930
(20年12月より電話番号変更しました)

E-mail: ferris@fgroup.jp

U R L: https://fgroup.jp

Fグループホームページ随時更新中!



他者のために

りてら会員の皆様、いつも同窓会活動へのご協力とご理解をいただき、ありがとうございます。今春の学年幹事会の書面議決でご承認をいただき、会長に就任いたしました。同時に新体制となり、万全の新型コロナ感染防止対策を講じながら、日々活動しています。

コロナ禍の中、今年も会報をお届けすることが出来ました。お力添えをいただいた皆様に御礼申し上げます。

2021年、499名の会員を新たにお迎えしました。総会員数は21497名となりました。



やまがた ゆきこ
会長 山縣 幸子
(1984J)

2013-2015年度会計
2018-2020年度副会長

6月に予定していました合同総会・同窓生のつどいは、皆様の安全を考慮して、中止といたしました。昨年に続いて、皆様との親睦の場が失われたことは残念でなりません。

コロナ禍の影響でイベントの中止が続いていますが嬉しいお知らせがあります。

創立150周年を迎えた2020年に山手6号館は150周年記念館に生ま

れ変わりました。りてら新同窓会室はその2階に移転し、旧同窓会室の約3倍の100㎡近い広々としたスペースです。学院のご配慮と小澤前会長のご尽力に心より感謝申し上げます。感染症が収束しましたら、ぜひお立ち寄りください。

また、記念館4階には105人収容のホワイエが誕生しました。皆様の交流の場としてクラス会やゼミOG会などにご利用いただけます。ご利用の際は同窓会室までお気軽にお問い合わせください。

緑園キャンパスでは、150周年記念事業の一つであるラーニングコモンズが図書館内に完成し、言語センターの改修も終わっております。今後、皆様にお披露目する機会を設けたいと考えています。

フェリス女学院の教育理念は「For Others」です。困難な状況の時にこそ、多様な価値観を受け入れ、他者とともに生きていくことが大切です。この夏の東京オリンピック・パラリンピックはそのことを再認識する良い機会となりました。一日も早く、皆様の平穏が戻りますようにお祈り申し上げます。

会総務委員会を何卒宜しくお願いいたします。

まだ見通しも立たない状況ですが、新型コロナウイルスが収束し、皆様にお会いできる日を切に願っております。

しております。

今年度より対面・オンラインかを選択できるハイブリッド授業へと変化し、密を避け、感染対策を行いながら勉学に取り組んでおります。まだ慣れないことばかりですが、対面授業も可能となり、友人や先生方と共に授業を受けられることに喜びを感じております。

昨年度は入学式を行えない状況でしたが、現2年生も今年度1年遅れの入学式を行い、フェリス女学院大学の学生としての実感が湧いたのではないかと思います。

ります。

同窓会の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。私達学友会は新入生を迎え、現在44人で活動しております。新型コロナウイルスの影響により、例年通りの活動は出来ておりませんが、オンラインでの新入生勧誘活動や常任委員会などコロナ禍でもやれる事を考え、少しずつですが、活動を再開しております。

キャンパスだより



学友会より

コミュニケーション学科3年
学友会会長 渡邊 清佳

山手新同窓会室オープン

コロナ禍により同窓会活動の自粛を余儀なくされる中、皆さまのご協力により、りてら同窓会室は、昨年12月よりやうく山手6号館(150周年記念館)へ移転し新たな開室となりました。

什器類やパソコン関連機器を準備し、ネット環境を整備。併設する事務局と会議スペースとの仕切りはなく、受付カウンターを設置いたしました。小さな給茶コーナーもございます。残念ながら6号館への入館は未だ申請が必要ですが、状況が落ち着きましたら、山手へお越しの際には1階の「歴史資料館」と併せて是非お立ち寄りください。



長きにわたり『りてら』にご尽力された小澤前会長、ありがとうございました。



女子学生のリアル



国際交流学部長
田丸 理砂 先生

国際交流学部教授。専門は、ドイツ文学、ジェンダー論

日本の若い女性たちは、二つの矛盾したメッセージを受けながら、成長していきま。性別にかかわらず、勉強や努力することが推奨される一方、最後の最後で「女の子だから、男の子みたいにならなくていいよ」と言われるのです。「女の子」は若いだけで価値があるのだから、若さを犠牲にしてまでがんばる必要はないとでもいうように。男性だったら、人生経験や仕事のキャリアを積んだ人は「いぶし銀」とか「しぶい」と称賛されるのに、女性の場合は外見、とりわけ「若さ」が評価の基準になることが多いのが悲しい現実です。

女子大学で研究教育に携わるわたしは、学生たちに、学び、さまざまな経験をし、知見を広めることが、わたしたちの人生を豊かにするのだ、と伝えたいと思っています。「若さ」でじゅうぶんと学ぶことを否定してしまつては、そもそも大学の存在意義はありません。とはいえ「若さ」という価値基準においてもっとも恩恵を受けている学生たちに、どうしたらわたしの思いを理解してもらえるか

と試行錯誤を繰り返す日々です。

現在もおこなっているコロナ禍は、ひょっとすると学生たちがこうした価値観を再考する契機となるかもしれません。2021年3月、メディアはコロナ禍における女性自殺者の増加を報じました。非正規雇用で働く多くの女性たちが職を失い、なかには生活苦を理由に自死を選択した人もいたのではないかと推測されています。非正規で働いている人たちに能力がないなどとはけつして思いませんが、こうした大変な時代を生きている学生たちは知識やスキルの習得の大切さをいっそう強く感じているはずです。

2019年4月、日本社会の性差別や格差の問題を指摘した上野千鶴子さんの東京大学での入学式祝辞が話題になり、その直後、わたしも授業で取り上げました。従来の男性像、女性像を肯定的にとらえるもの、それらを唱えるもの、学生たちの反応はさまざまでしたが、ある一点についてはほぼすべての学生が憤っていました。当時話題になっていた医学部不正入試問題です。入試が記憶に新しい学生たちにとって、男性というだけで女性よりも優遇されるということが許せなかったのです。学生たちの考えはみずからの経験によって変化します。働くことや結婚がリアルになったとき、彼女たちが何を考え、どんな行動をとるのでしょうか。大学での学びがその一助となることを願ってやみません。

りてら2020年度決算報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

●収入の部(円)

科 目	決 算
終 身 会 費	15,690,000
身 分 募 金	419,367
預 金 利 息	1,072
雑 収	0
収 入 小 計	16,110,439
前 年 度 繰 越 金	42,829,444
収 入 合 計	58,939,883

●支出の部(円)

科 目	決 算
総 会 費	1,042,614
会 報 費	2,585,856
ク リ ス マ ス カ ー ド	1,147,314
企 画 費	0
会 議 費	263,267
卒 業 ・ 入 学 関 連 費	1,446,924
大 学 祭 費	0
寄 贈 金	3,000,000
就 職 課 支 援 金	300,000
交 際 費	0
会 員 費	70,000
人 件 費	575,821
交 通 費	100,280
通 信 費	189,076
シ ス テ ム 関 連 費	432,764
リ ン ク 費	54,000
印 刷 費	149,952
事 務 消 耗 品 費	23,000
手 数 料	9,810
備 品 費	27,060
雑 費	26,950
予 備 費	0
新 同 窓 会 室 準 備 費	3,748,017
支 出 合 計	15,192,705
次 年 度 繰 越 金	43,747,178
合 計	58,939,883

■寄付について■

2020年度の「寄付」予算200万円は、2019年度予算100万円と合わせ300万円を150周年記念募金(大学二次)「ラーニングコモンズ整備事業」へ寄付いたしました。例年当科目は、フェリス女学院「維持協力会」への寄付を主としております。

また、コロナ禍の影響を受ける学生への学修支援として、ショップ会計より200万円を寄付いたしました。りてらの銘入り「Wi-Fiポケットルーター」購入に充てられ学生へ貸与されていると、大学より感謝のご報告を受けております。学生支援は2021年度より予算科目を新設し継続して参ります。

「就職課支援金」は企業によるオンライン就職セミナー実施に伴うシステム利用料の補助金に充てられました。

皆さまのご支援とご協力に感謝申し上げます。



〈りてら銘入りルーター〉

■りてら募金(追加通信費)のお願い■

りてらの運営は皆さまの終身会費で賄われ、同窓会活動や学院への寄付金などに充てさせていただいております。しかしながら、昨今の諸経費・通信費の高騰に伴い運営の見直しを進めると共に、同窓会の将来を見据えての準備が必要との判断をいたしました。会員の皆さまには終身会費に加えて追加通信費の納入をお願いいたしたく「りてら募金」としてお振込みいただいております。

お気持ちのある方に、お気付きになられた時に3000円をお納めいただく任意のもので、毎年多くの皆さまにご協力を賜っております。詳しくは公式サイト「寄付のお願い」をご覧ください。金額を定めないご寄付も同じ口座にてお受けしております。

これからの私たち

私は米国ニューヨークに本社があるモルガン・スタンレーの日本拠点で人事部長をしています。当社は多岐に渡る金融サービスを40か国以上で展開するグローバル金融サービス企業です。フェリス卒業と同時に債券部に就職、その後人事部に異動し、モルガン・スタンレー一社でこれまでキャリアを積んできました。フェリスでは英文学科で言語学を学び、金融や経済とは無縁。帰国子女でもない私がこんなに長く外資金融機関に勤務することになるとは想像もしていませんでした。この間、会社の成長や変化を肌で感じながら、東日本大震災やMUFGグループとの合併会社設立、コロナ禍における社員対応など、多くを経験することで私自身も成長させてもらいました。

フェリス在学時はなんとなく目標が定まらず、外へばかり目を向けていたように思います。国際交流団体に関わり、他大学の学生とともにアジア諸国へ行かせてもらったり、父がセーリング競技に関わっていたので、国際レースの運営を手伝ったり。そんな風でしたが、学友たちと過ごした学食や楽しかった元町散策、ゼミ合宿を途中で抜け出して叱られたことなど、思い出はつきま

せん。とある雪の日に、急坂の途中でヒールが滑り立ち往生している見知らぬ同窓生の手を引いて、坂の上まで歩いたこともありました。

人事部長という仕事柄、キャリアに悩んだりプライベートと仕事のバランスに戸惑っている多くの女性と話をすることがあります。そして新型コロナウイルスのパンデミック宣言から一年半、私たちの暮らしは随分変わりました。今後はコロナ前の状態には戻らないでしょう。変化に柔軟に対応し、進化することができるかどうか。各企業が、そして私たち自身が問われていると感じます。

これからは、ますます女性が活躍する時代がやってきます。私のこれまでの経験が少しでも多くの女性達の背中を押し、明るく前向きな挑戦につながるよう、後も尽力してまいります。



池垣 真里さん
(1987E)

モルガン・スタンレー・グループ(株)
マネージング ディレクター
人事部長

同窓会室より

昨今の社会状況により様々なイベントが中止となり、皆さまにお目にかかることも叶わず大変残念に思っております。学年幹事会は、昨年度より書面議決へのご理解とご協力をいただいております。

▼今年度の大学祭はオンラインとなりました。11月6〜10日大学祭特設サイト等で催される予定です。りてらもグッズサイトへのリンクを貼り、通信販売のご案内をいたします。

▼同窓会合同クリスマス礼拝は、残念ながら本年も中止となりました。来年こそ皆さまと賛美の集いを持てますことをお祈りいたしております。どうぞ皆さま各々で、心静かによいクリスマスをお迎えください。

▼ご好評をいただいております「小さな旅くらぶ」も開催見送りが続いております。幸い山手6号館への移転により広い同窓会室の使用や会議スペースの借用も可能となりましたので、今後は小旅行に限らず、講演会や講習会などイベントのご案内もしていくサークルへ広げていければと思っております。ご登録・ご参加をお待ちしております。



〈新同窓会事務局〉

役員紹介



役員会、事務局共に新体制となりました。役員の任期は2023年度までです。どうぞよろしくお願いいたします。

オリジナルグッズ紹介



例年学祭や入学式卒業式でショップを開設、緑園4号館内丸善ショップでは常時販売しております。通販もご利用ください、詳しくは公式サイトまで。

会長	副会長	書記	会計	事務局
山縣 幸子	増田 紀子	島村 直美	貴田 里砂	井上 淳子
1984J	1983E	1987E	1994E	1997J
内藤 由美	並江 由佑子	荒瀬 篤子	遠山 かおり	
1987J	2007J	1984J	1995J	



フェリスと私 5

フェリスの庭

二〇〇九年四月一日、フェリス女学院大学文学部英文学科にイギリス演劇担当の教員として着任してから十二宮の周期がひと巡りしたところです。この間、学科も英語英米文学科へと名称を変え、学生の気質もまた私自身も少しずつ変わっていったように思います。

実は私が初めてフェリスを訪れたのはさらにその八年ほど前に遡る二〇〇一年一月末の山手キャンパスでした。私の前任者であった井出新先生が当時研究会の場所としてフェリスの山手の部屋をご準備下さり、私は初めて山手の地に足を踏み入れました。ところが当日は関東地方に数年来の大雪が積もった日で、雪山の道を掻き分けるようにしてようやく山手キャンパスに辿り着いたことを今でも懐かしく思い出します。私にとってフェリスの印象は雪化粧に覆われた山手キャンパスの庭と結びつくものでした。

その八年後の四月に専任教員として緑園キャンパスに着任することになるわけですが、山手の厳しい雪化粧のイメージは一転して緑園キャンパスの春の花々に彩られた庭のイメージへと変わっていました。それでも私の心の中には、小塩トシ子先生、青山誠子先生、川西進先生、井出新先生といった錚々たるフェリス英文科のシェイクスピア研究者の末席に連な



〈ウィリアム・シェイクスピア2000〉

ることへの覚悟と緊張が少なからずありました。フェリスの英文科の伝統を引き継いでいこうとする妙な力みからか、最初の頃の演習ではシェイクスピアの原文講読を中心にかなり堅苦しい授業をしていたようにも思います。しかし、フェリスの雰囲気慣れるにつれてそうした気負いも消え、だんだん学生との時間を楽しめるようになってきました。

演劇のゼミの担当者として、授業とは別にシェイクスピアの芝居やミュージカルを学生と一緒に観劇する機会もあります。そのようなとき私も若い世代の彼女たちの感想を聞きながら一緒に楽しんでいます。芝居を観る前に、私は「主役の視点だけではなく、脇役も含めた舞台全体の動きを観るといいよ」とだけアドバイスを送るのですが、そうすると学生は「あの人物は一言も台詞を口にしなければ、後ろでこんな動作をしていた」とか「場面が変わってある登場人物の服装だけが暗い色に変わっていた」などと私も気づかなかった小さな発見を報告してくれます。それがたとえば作品の本質と

関係のないことであっても、自分の目で見つけたささやかな発見を重ねるごとに、芝居を観る眼が養われてくるのだと思います。

こんな風にして演劇のゼミで学生からも刺戟を受けながら毎日を送っています。残念ながらコロナ禍のいまは観劇も含めた様々な活動が制限されてしまいつらい季節となってしまうましたが、私はこのような苦難の時期にはいつもシェイクスピアの庭を思い出すことにしています。故郷ストラットフォード・アポン・エイヴオンにある彼の生家の裏庭には、シェイクスピア作品に登場するたくさんのお花々が咲き乱れています。冬、長い英国ではすべての花が一斉に咲き乱れる季節は短く、むしろ冬枯れの庭にこそ味わいがあるように思います。そこでは野趣の濃い花々がそれぞれの個性を主張しながら、花冷えの季節を経て春の訪れを待っています。

フェリスの庭に集う学生たちはいま様々な面で不便を強いられています。演劇ゼミという小さな土壌のなかで、小さな発見の種をいくつも蒔いて、冬景色のなかでじっくりと力を貯えながら、や



文学部長
由井 哲哉 先生

英語英米文学科教授。専門は、イギリス演劇・イギリス文化

がては春の芽生えを待つ個性豊かな花々に育ってくれることを願っています。そして社会に出られ様々な経験を積まれた皆さんから新たな発見と刺戟を受けながら、芝居や文学について語り合える日の来ることを楽しみにしています。

サポーター募集

りてら活動の「サポーター」さんを募集しています。アドレス登録制で、グッズ販売などイベント等のお手伝いにご都合に合わせてご参加いただいております。今後は役員会のサポートとして企画運営などもお願いしていく予定です。お気軽にご登録ください。

登録情報変更について

ご住所の変更、ご永眠者のお届けは、FAXまたはメールにて同窓会室までご連絡ください。

開 室：毎週火曜日・木曜日 10時～16時
(大学の休暇中は閉室)

住 所：231-0862
横浜市中区山手町 68 フェリス女学院6号館
フェリス女学院大学同窓会りてら

TEL/FAX：045-228-7556

U R L：https://littera.gr.jp

E m a i l：info@littera.gr.jp

◆住所変更やグッズ購入等、同窓会室へのお申し込み、お問合せには公式サイトのご利用が便利です。
QRコードよりアクセスしてください。



同窓会支部だより

関西支部

今年も3分の2が過ぎた現在、コロナ禍の中で制限ある生活が続いております。大変残念ですが、2021年度関西支部総会同窓会は、中止と致します。次回、笑顔でお会い出来ます事を願っております。皆様が御健康で心おだやかに過ごされます様、心より御祈り申し上げます。

関西支部長 幸田 睦子

設立95年を迎える関西支部は、皆様からの維持費で運営しております。支部の活動を続けていく為に、一年分5000円の維持費振込のご協力を、お願い致します。

ゆうちょ銀行 店名 四四八 店番 448
普通預金 口座番号 0499704
フェリス女学院関西支部同窓会

クリスマス礼拝



2021年のクリスマス礼拝は中止です。

2020年度フェリス女学院中高・大学同窓会 会計報告 (2020年4月1日～2021年3月31日) (単位円)

前年度繰越金(2020年4月1日)		1,496,903
収入	同窓会連絡会 維持費 ￥70,000×4	280,000
	白菊会、リベるて、Fグループ、りてら	
	利息 2020年8月	6
	利息 2021年2月	7
小計		280,013
収入合計		1,776,916
支出	お花料(元中学校高等学校校長中村城治先生)	100,000
	クリスマス献金 ￥20,000×4	80,000
	●日本ユニセフ協会	
	●日本キリスト教海外医療協力会	
	●難民を助ける会	
●社会福祉法人日本医療伝導会		
献金振込手数料		203
支出合計		180,203
次年度繰越金		1,596,713

以上の通りご報告いたします。
2021年4月1日

りてら 山縣 幸子

西南支部

150周年を祝う同窓会は100年に一度と言われるコロナ禍で開催出来ませんでした。昨年に引き続き本年度の西南支部同窓会総会も中止となります。大変残念ではありますが少し立ち止まり、今度とコロナ禍後の同窓会を考える機会なのかもしれません。

はじめ、九州では母校の風は中々届かないから、仲間数名で開かれた小さな同窓会。晴れやかに談笑し、校歌を大きな声で歌う喜びは想像以上で昭和・平成・令和と回を重ねて大きくなり西南支部としての現在に至ります。

ネット社会の今、母校の情報は簡単に入手出来る一方で個人情報の管理は難しく使いにくい一面を持ちます。一人一人の個性同様、時代の長所短所を受け入れて応じて来たフェリスの精神。私たち西南支部もまた変化を受け入れ手ざりしながら、魅力ある同窓会を皆さまと企画して参ります。一日も早く平穏が戻りますように。

西南支部長 大神 薫子

永眠者(お届けのあった方)

大学名誉教授

村井 範子先生

芳野 靖夫先生

鈴木 寛一先生

島田 麗子先生

リベるて

土肥 恭子姉(D25)

正能美美子姉(D30)

津久井恵美子姉(D35)

小泉 菊子姉(D37)

安道 幸子姉(D38)

齋藤 淑子姉(D39)

中村 紀子姉(D39)

香西加奈子姉(D40)

内田 美枝姉(D41)

富岡 千鈴姉(D44)

Fグループ

八木 英子姉(5回)

白井 淳子姉(11回)

佐藤 淳子姉(16回)

齋藤 夏恵姉(8回)

加藤 敬子姉(23回)

末松 正子姉(15回)

亀井 直子姉(22回)

りてら

小幡 徳子姉(19回)

金子 のぶ姉(19回)

中野 敬子姉(19回)

大島 信子姉(19回)

荒川 郁子姉(19回)

長澤 禮子姉(19回)

宮沢 紀子姉(19回)

池田 和子姉(19回)

中村 美津子姉(19回)

杉山 洋美姉(19回)

増本 キヌ子姉(19回)

近藤 真江姉(19回)

森下 美代子姉(19回)

山本 洋子姉(19回)

坂田 ひとみ姉(19回)

天来の慰めをお祈りいたします。

歴史資料館からのお願い

感染予防対策の徹底を図った上で同窓生の皆様への公開を始めました。予約制ですので、見学を希望する方は左記の通りメールで予約をしてください。本学院では入構規制を行っているため、一般の方は引き続きご来館出来ません。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

開館 日：月曜日(金曜日)

(除：祝日、学院の休日)

時間 10時～15時30分

見学時間帯 ①10時 ②11時 ③13時

予約専用メールアドレス ④14時 ⑤15時(各回10名まで)

tsv.archives@ferris.ac.jp

フェリス女学院歴史資料館

電話 045-662-4411

mail: archives@ferris.ac.jp

編集後記

新型コロナウイルス感染症に罹患された方、各地豪雨災害により被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

昨年より続くコロナ禍で多くの行事が中止となり、先の見通しが立てづらい中、皆様の温かいご助力をいただいて今年も会報をお届け出来る幸に感謝いたします。

新型コロナウイルスワクチン接種が進み、穏やかな日常を取り戻し、また、皆様と集える日を楽しみに、ご健康をお祈り申し上げます。

フェリス女学院大学同窓会会報

2021年10月発行

担当：家政科同窓会りてら

りてら 045(662)0750

Fグループ 045(228)7556

印刷：野毛印刷社 045(350)8930